

当社社長の「2003年 新年挨拶」について

当社社長 野見山昭彦の「2003年 新年挨拶」は要旨次のとおりです。

1. 昨年を顧みると、IT産業の不振が継続する中、国際的なデフレが懸念されるなど、総体として厳しい経営環境を余儀なくされた1年であった。
2. 当グループは、こうした状況を将来にむけての生みの苦しみ・試練として受け止め、他に類を見ない異業種の経営統合への挑戦である持株会社制による経営改革を成功させるとの決意を強くしている。
3. 当グループが採用した持株会社体制は、「攻める」と「守る」の攻守両面に優れた強い組織形態である。「攻める」とは、グループ経営資源を成長分野へ重点的にかつ思い切って投入することであり、「守る」とは、各事業会社の信用力の総和を超えるプラス α の信用力を創出し、グループ信用力を強化・向上することである。
4. ただし、「攻める」にも「守る」にもグループの一体感の醸成が不可欠であり、新日鉱ホールディングスは、グループの司令塔としての役割を十分に果たすことによって、グループの求心力を一層高めていくとともに、常に明確な経営方針をグループの皆さんに発信していく所存である。